

令和5年における労働災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局労働基準部安全課

令和5年 業種別労働災害発生状況 その1

令和6年2月末現在

北海道労働局

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
全産業合計	51	8,864	8,915	49	15,265	15,314	-6,399	-41.8	100.0	53	16,419	16,472
製造業	4	1,128	1,132	5	1,303	1,308	-176	-13.5	12.7	5	1,343	1,348
食料品	3	624	627	1	706	707	-80	-11.3	7.0	1	730	731
木材・家具		86	86		101	101	-15	-14.9	1.0		101	101
紙・印刷		18	18		34	34	-16	-47.1	0.2		36	36
窯業・土石		43	43		66	66	-23	-34.8	0.5		66	66
金属・機械		180	180		184	184	-4	-2.2	2.0		191	191
その他	1	177	178	4	212	216	-38	-17.6	2.0	4	219	223
鉱業		3	3		3	3			0.0		3	3
土石採取業	1	16	17		19	19	-2	-10.5	0.2		19	19
建設業	6	880	886	23	972	995	-109	-11.0	9.9	23	995	1,018
土木工事業	4	294	298	13	380	393	-95	-24.2	3.3	13	390	403
建築工事業	2	371	373	5	386	391	-18	-4.6	4.2	5	398	403
木造建築業		112	112		112	112			1.3		113	113
その他		103	103	5	94	99	4	4.0	1.2	5	94	99
交通運輸事業	1	303	304	1	369	370	-66	-17.8	3.4	1	413	414
陸上貨物運送事業	10	813	823	4	844	848	-25	-2.9	9.2	5	864	869
道路貨物運送	10	757	767	4	790	794	-27	-3.4	8.6	5	810	815
陸上貨物取扱		56	56		54	54	2	3.7	0.6		54	54
港湾運送業		8	8		17	17	-9	-52.9	0.1		17	17
林業	4	64	68	1	76	77	-9	-11.7	0.8	1	80	81
水産業	1	130	131	2	130	132	-1	-0.8	1.5	2	133	135
商業	5	1,082	1,087	4	1,162	1,166	-79	-6.8	12.2	5	1,196	1,201
清掃・と畜業	3	416	419	1	459	460	-41	-8.9	4.7	1	481	482
上記以外の事業	16	4,021	4,037	8	9,911	9,919	-5,882	-59.3	45.3	10	10,875	10,885

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。
 死亡災害については、本年・昨年ともに把握した件数である。
 休業災害については、本年は把握した件数、昨年は再集計した件数である。

令和5年 業種別労働災害発生状況 その2

令和6年2月末現在

北海道労働局

「上記以外の事業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
農業		113	113	1	112	113			1.3	1	117	118
畜産業	2	321	323	2	323	325	-2	-0.6	3.6	2	328	330
金融・広告業		54	54		49	49	5	10.2	0.6		50	50
映画・演劇業		1	1		7	7	-6	-85.7	0.0		7	7
通信業		185	185		183	183	2	1.1	2.1		185	185
教育・研究業		69	69	1	115	116	-47	-40.5	0.8	1	121	122
保健衛生業	1	2,500	2,501		8,383	8,383	-5,882	-70.2	28.1	1	9,302	9,303
接客娯楽業	3	452	455		382	382	73	19.1	5.1		387	387
その他の事業	10	326	336	4	357	361	-25	-6.9	3.8	5	378	383
合計	16	4,021	4,037	8	9,911	9,919	-5,882	-59.3	45.3	10	10,875	10,885

「第三次産業」の内訳

業種別	令和5年			令和4年			対前年		業種割合 (%)	令和4年確定		
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率		死亡	休業	合計
商業	5	1,082	1,087	4	1,162	1,166	-79	-6.8	12.2	5	1,196	1,201
うち小売業	2	847	849	3	913	916	-67	-7.3	9.5	3	935	939
金融・広告業		54	54		49	49	5	10.2	0.6		50	50
映画・演劇業		1	1		7	7	-6	-85.7	0.0		7	7
通信業		185	185		183	183	2	1.1	2.1		185	185
教育・研究業		69	69	1	115	116	-47	-40.5	0.8	1	121	122
保健・衛生業	1	2,500	2,501		8,383	8,383	-5,882	-70.2	28.1	1	9,302	9,303
うち社会福祉施設		1,190	1,190		3,534	3,534	-2,344	-66.3	13.3	1	3,827	3,828
うち医療保健業	1	1,304	1,305		4,830	4,830	-3,525	-73.0	14.6		5,451	5,451
接客・娯楽業	3	452	455		382	382	73	19.1	5.1		387	387
うち飲食店		219	219		196	196	23	11.7	2.5		197	197
うち旅館業		111	111		87	87	24	27.6	1.2		89	89
うちゴルフ場	1	51	52		40	40	12	30.0	0.6		40	40
清掃・と畜業	3	416	419	1	459	460	-41	-8.9	4.7	1	481	482
その他の事業	10	326	336	4	357	361	-25	-6.9	3.8	5	378	383
うち警備業	6	75	81	2	71	73	8	11.0	0.9	3	73	76
合計	22	5,085	5,107	10	11,097	11,107	-6,000	-54.0	57.3	13	12,107	12,120

令和5年 業種別死亡災害発生状況 [速報]

令和6年2月末現在

北海道労働局

業種	令和5年		令和4年同期		対前年比較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	51 (10)	100.0	49 (9)	100.0	2	4.1	1	2.5
製造業	4 ()	7.8	5 ()	10.2	-1	-20.0	-1	-20.0
鉱業	1 ()	2.0	()		1	-	1	-
建設業	6 (1)	11.8	23 (1)	46.9	-17	-73.9	-17	-77.3
交通運輸事業	1 (1)	2.0	1 ()	2.0			-1	-100.0
陸上貨物運送事業	10 (2)	19.6	4 (1)	8.2	6	150.0	5	166.7
港湾運送業	()		()			-		-
林業	4 ()	7.8	1 ()	2.0	3	300.0	3	300.0
その他の事業	25 (6)	49.0	15 (7)	30.6	10	66.7	11	137.5

本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和5年 業種別死亡災害発生状況(その他の事業の内訳)[速報]

令和6年2月末現在

北海道労働局

業 種	令 和 5 年		令 和 4 年 同 期		対 前 年 比 較			
	死亡者数	構成比 (%)	死亡者数	構成比 (%)	全件数		交通事故を除く	
					増減数	増減率	増減数	増減率
その他の事業	25 (6)	100.0	15 (7)	100.0	10	66.7	11	137.5
小売業	2 (1)	8.0	3 (2)	20.0	-1	-33.3		
医療保健業	1 ()	4.0	()		1	-	1	-
社会福祉施設	()		()			-		-
清掃・と畜業(ビルメン テナンス業を除く)	2 ()	8.0	1 ()	6.7	1	100.0	1	100.0
ビルメンテナンス業	1 ()	4.0	()		1	-	1	-
ゴルフ場の事業	1 ()	4.0	()		1	-	1	-
警備業	6 (3)	24.0	2 (2)	13.3	4	200.0	3	-
農業・畜産業	2 (1)	8.0	3 ()	20.0	-1	-33.3	-2	-66.7
水産業	1 ()	4.0	2 ()	13.3	-1	-50.0	-1	-50.0
その他	9 (1)	36.0	4 (3)	26.7	5	125.0	7	700.0

本統計は、本年・昨年ともに把握した死亡者数の速報値である。

死亡者数欄の()内は、交通事故による死亡者数で、内数である。

令和5年 業種別・年別・月別死亡災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号		4号		5号		6-2号		7-2号		その他 の事業	合計													
	製造業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建設業	道路貨物 運送業	その他の 運輸業	陸上貨物 取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他	合計																
年別	6			1	22	7	2		1	4	4	17	64																
平成25年	4			1	22	6	2			4	6	20	65																
平成26年	7			2	25	10	3	1	1	4		12	65																
平成27年	7			1	30	13	1			5	2	18	77																
平成28年	8			2	23	10	2			5	5	26	81																
平成29年	11	1			17	11				6		18	63																
平成30年	10				20	6	2			8	1	15	62																
令和元年	6	1		1	14	4	3	2		4	3	14	51																
令和2年	3	1		1	20	8	1			1	3	22	59																
令和3年																													
区分 月別 年別	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計	当月分	累計					
令和4年	1月	1	1					3	3	1	1												5	5					
	2月	1	2						3		1	1	1	1								1	1	3	8				
	3月		2					1	4	1	2		1									1	2	3	11				
	4月	1	3					1	5		2		1									1	3	3	14				
	5月		3					1	6	2	4		1									1	4	4	18				
	6月		3					1	7		4		1									2	6	3	21				
	7月	1	4					1	8		4		1									1	7	3	24				
	8月	1	5					3	11		4		1										7	4	28				
	9月		5					3	14	1	5		1										1	8	5	33			
	10月		5					3	17		5		1										4	12	7	40			
	11月		5					2	19		5		1										1	14	5	45			
	12月		5					4	23		5		1										1	16	8	53			
令和5年	1月																					1	1	2	2				
	2月	2	2							2	2											1	1	4	5	8	10		
	3月		2								2											1	2	1	6	3	13		
	4月		2								4												2	1	2	8	4	17	
	5月		2								4												2	1	2	10	2	19	
	6月		2					2	2		4	1	1										2	1	2	12	5	24	
	7月		2					1	3		4		1										1	3	1	4	6	30	
	8月		2						3	2	6		1										1	4	1	17	4	34	
	9月	1	3						3	1	7		1										4	1	1	18	3	37	
	10月		3					1	1	2	5	2	9										4	1	2	20	7	44	
	11月		3						1		5	1	10										4	1	1	21	2	46	
	12月	1	4						1	1	6		10										4	1	3	24	5	51	
対前年 同期比	件数	1	-1	±0	±0	±0	±0	±0	1	-3	-17	±0	5	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-1	3	-1	-1	1	8	-3	-2
	百分率	-	-20.0	±0	±0	±0	±0	±0	-	-75.0	-73.9	±0	100.0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-100.0	300.0	-100.0	-50.0	50.0	50.0	-37.5	-3.8

本統計は業種別の死亡災害発生件数を、発生年又は発生月ごとに記載したものである。

本年は速報値を基に、昨年は確定値を基に、発生月ごとの件数を記載したものである。

令和5年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号		1	2	3	4	5	6-2	7-2	その他 の事業 計	起因物番号																											
	業種	業種	製業	鉱業 採取	土建設	道路 貨物運送	陸上 貨物取扱	港湾 運送	林業		水産	11 起因物 計	12 原動機	13 動力 機械	14 木建設 用機械	15 金属 加工用 機械	16 一般 動力 機械	17 車両系 木材伐出 機械等	21 動力 クレーン 等	22 動力 運搬 機	23 乗物	31 圧力 容器	32 化学 容器	33 溶接 装置	34 炉・ 窯等	35 電気 設備	36 人力 機械 工具 等	37 用 具	39 その他 の装置 設備	41 仮設物・ 建築物・ 構築物 等	51 危険物・ 有害物 等	52 材料	61 荷	71 自然 環境 等	91 その他 の起因 物	92 起因 物なし	99 分類 不能	
1	墜落、転落		1		3	2				4	10			1	1			1								4		3										
2	転倒				1	1				2	4			1	1				1														1					
3	激突									1	1																	1										
4	飛来、落下									2	2				1											1												
5	崩壊、倒壊	1			1				1		3																						1	1	1			
6	激突され	1							2	1	4					1		2																	1			
7	はさまれ、巻き込まれ	1			3				1	4	9			1	3			3	1								1											
8	切れ、こすれ																																					
9	踏抜き																																					
10	おぼれ			1	1					1	3																	1						2				
11	高温、低温の物との接触									1	1																									1		
12	有害物等との接触																																					
13	感電																																					
14	爆発																																					
15	破裂																																					
16	火災																																					
17	交通事故(道路)				1	2	1			6	10							8	2																			
18	交通事故(その他)																																					
19	動作の反動、無理な動作																																					
90	その他				1				1	2	4																								1	1	2	
99	分類不能																																					
合計		4	1	6	10	1		4	1	24	51			3	6	1		14	4							5	1	5		1	1	7	1	2				

本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和5年 署別・業種別死亡災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局

業種別	1号		2号		3号	4号		5号		6-2号	7-2号	その他業 その事業	合計
	製 造 業	うち木材木 製品製造業	鉱山保安法 適用事業	土石採取業	建 設 業	道 路 貨 物 運 送 業	そ の 他 の 運 輸 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業		
署別													
札幌中央	1					3						4	8
札幌東	1						1					4	6
函 館											1	2	3
小 樽													
岩見沢						1						2	3
旭 川	1									1			2
帯 広					1	4				1		1	7
滝 川						1							1
北 見	1				2	1						1	5
室 蘭												3	3
釧 路				1						1		1	3
名 寄												1	1
留 萌													
稚 内													
浦 河					2							1	3
苫小牧					1					1		2	4
倶知安												2	2
計	4			1	6	10	1			4	1	24	51

本統計は、把握した死亡者数の速報値である。

令和5年 署別・業種別死傷災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局

業種別 署別	全産業合計	製 造 業							鉱 業		建 設 業				交 通 運 輸 事 業			陸 上 貨 物 運 送 事 業			港 湾 運 送 業	林 業	水 産 業	商 業		社 会 福 祉 施 設	飲 食 店	清 掃 ・ と 蓄 業	左 記 以 外 の 事 業	対 前 年 比 増 減 率			
		計	食 料 品 製 造 業	木 材 ・ 家 具	紙 ・ 印 刷	窯 業 土 石 製 品	金 属 ・ 機 械	そ の 他 製 造 業	鉱 山	土 石 採 取 業	計	土 木 工 事 業	建 築 工 事 業	木 造 建 築 業	そ の 他 建 設 業	計	道 路 貨 物 運 送 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	計	小 売 業				そ の 他 商 業									
札幌中央	2,977	98	33	6	7	5	25	22		2	124	26	68	13	17	104	129	122	7			1			214	161	53	726	60	109	1,410	-44.5%	
札幌東	1,651	106	51	4	1	2	32	16		1	137	30	77	10	20	81	125	114	11			1			230	163	67	236	63	112	559	-44.3%	
函館	3,217	222	121	10	7	2	45	37			190	55	100	15	20	105	251	215	36			1	1		329	234	95	665	48	105	1,300	-44.3%	
小樽	1,791	208	113	5	7	4	40	39			166	47	88	11	20	101	252	219	33						288	213	75	213	62	93	408	-48.9%	
岩見沢	1,673	124	86	5	2	8	13	10			78	45	23	4	6	17	54	54						11	18	96	86	10	281	16	38	940	-48.9%
旭川	855	108	79	9		2	11	7		1	88	35	32	9	12	11	45	44	1			2	2	4	20	78	69	9	82	15	32	371	-57.7%
帯広	823	109	64	1	2		6	36		1	44	35	7	1	1	25	18	18			2	2	2	2	34	28	6	342	2	9	233	-57.7%	
滝川	348	62	37	2	1	1	5	16		1	21	11	3	5	2	26	18	17	1					3	40	35	5	94	5	12	66	-27.4%	
室蘭	307	42	22	1	3	3	8	5			40	25	6	7	2	12	26	25	1					1	37	32	5	73	4	12	60	-27.4%	
釧路	223	45	16	4	1	4	14	6			45	27	10	6	2	4	14	12	2					2	24	23	1	37	5	7	40	-29.6%	
名寄	984	84	33	18	1	4	16	12		3	77	23	37	9	8	43	65	65						9	88	71	17	325	16	28	246	-29.6%	
留萌	693	89	38	18		6	12	15		2	68	28	24	9	7	15	58	57	1					5	94	72	22	145	16	34	167	-39.3%	
稚内	995	100	73	6	2	3	7	9		3	53	17	17	12	7	5	58	58					15	3	65	54	11	201	10	58	424	-39.3%	
小樽	604	90	63	11		1	4	11	1	5	72	15	27	17	13	5	72	72					14	2	57	49	8	54	8	36	188	-55.0%	
室蘭	424	40	9	6		4	11	10	1		64	46	14	3	1	6	20	20						1	22	19	3	151	3	7	109	-55.0%	
釧路	191	29	11	2		3	6	7	2		33	12	12	4	5	7	6	6					2		23	19	4	50	3	6	30	-26.0%	
名寄	588	82	53	11		6	6	6		2	47	25	9	10	3	6	24	23	1				10	18	38	29	9	113	2	13	233	-26.0%	
留萌	435	71	55	5		2	4	5		2	34	9	18	6	1	6	28	26	2				16	19	50	40	10	44	5	17	143	-53.7%	
室蘭	630	79	62			2	11	4			28	5	14	5	4	5	15	14	1		2		2	2	43	40	3	179	4	23	250	-53.7%	
釧路	292	42	15			4	14	9			33	5	15	9	4	6	16	16					1	2	45	41	4	41	11	18	77	-27.1%	
名寄	711	81	52	5		1	4	19	2	2	75	27	34	9	5	22	67	64	3			3	9	39	65	57	8	136	11	16	183	-27.1%	
留萌	518	83	51	4		1	15	12		2	59	18	27	10	4	13	49	48	1				7	41	60	51	9	57	9	19	119	-19.0%	
稚内	153	35	13	9	1	3	1	8		3	16	8	5	1	2	7	8	8					7	14	10	7	3	18	1	4	30	-19.0%	
室蘭	124	16	10	5				1		1	20	9	8	2	1	1	15	15					6	18	11	11		10	1	5	20	-46.5%	
留萌	142	26	10	1			1	14			11	8	2	1		2	6	6				1	2	4	10	9	1	41		3	36	-46.5%	
稚内	76	11	9					2			9	6		2	1	1	9	9						4	6	6		26		1	9	-50.8%	
室蘭	250	33	26	1		5	1				30	13	6	7	4	1	9	8	1				1	26	14	11	3	30		4	102	-50.8%	
留萌	123	20	17	1		1	1			1	25	11	9	3	2	1	10	10					2	15	7	7		20		1	21	-11.0%	
室蘭	219	12	6	2		1	1	3		1	10	4	2	3	1		4	4					2	3	8	6	2	24		4	151	-11.0%	
留萌	195	10	4	2		1		3			12	10	2				5	3	2				2	5	3	3		10	1	2	145	-36.5%	
室蘭	1,028	123	33	17	8	18	28	19		2	72	15	32	10	15	8	91	87	4		8	5	2	80	65	15	165	17	20	435	-36.5%		
留萌	653	119	45	8	8	10	22	26		1	42	17	11	8	6	22	98	96	2		7	5		60	43	17	55	13	22	209	-25.9%		
留萌	193	18	11	2	1	2		2			36	16	15	2	3	2	3	3					1		13	7	6	64	2	7	47	-25.9%	
留萌	143	23	13	6		1		3			22	8	10	1	3	4	3	3					1	3	11	4	7	16	2	2	56	-25.9%	
合計	15,314	1,308	707	101	34	66	184	216	3	19	995	393	391	112	99	370	848	794	54	17	77	132	1,166	916	250	3,534	196	460	6,189	-41.8%			
対前年比増減率	8,915	1,132	627	86	18	43	180	178	3	17	886	298	373	112	103	304	823	767	56	8	68	131	1,087	849	238	1,190	219	419	2,628				
対前年比増減率	-41.8%	-13.5%	-11.3%	-14.9%	-47.1%	-34.8%	-2.2%	-17.6%		-10.5%	-11.0%	-24.2%	-4.6%		4.0%	-17.8%	-2.9%	-3.4%	3.7%	-52.9%	-11.7%	-0.8%	-6.8%	-7.3%	-4.8%	-66.3%	11.7%	-8.9%	-57.5%				

本統計は、「業種別労働災害発生状況」を管轄署別に集計したものであり、上段は前年、下段は当年である。

令和5年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況

令和6年2月末現在

北海道労働局

事故の型番号	業種番号											起因物番号																										
	1	2	3	4	5	6-2	7-2	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	21	22	23	31	32	33	34	35	36	37	39	41	51	52	61	71	91	92	99		
事故の型	製業	鉱業	土石採取業	建設業	道路貨物運送業	その他の運輸交通業	陸上貨物取扱業	港湾運送業	林業	水産業	その他の事業業	起	原	木	建	金	一	車	動	動	乗	圧	化	溶	炉	電	人	用	その	仮	51	52	61	71	91	92	99	
	計	機	機	械	械	械	械	械	械	械	械	機	機	械	械	械	機	機	機	物	器	器	置	等	備	等	具	備	等	材	荷	等	物	物	物	類		
1 墜落、転落	127		9	279	210	15	9	2	1	14	462	1128			1	31		16		14	265	25			1	3	278	21	379		5	10	76	1	2			
2 転倒	313	1		124	194	86	11	3	11	30	1,516	2289				10	2	4	1	6	57	47				7	49	144	34	976	1	31	32	769	15	103	1	
3 激突	39			27	41	4	8		2	5	172	298				6		5	2	7	47	19		1			27	33	25	77		10	13	19	2	5		
4 飛来、落下	58			70	35		1		9	8	89	270	1		5	8	2	11	1	11	26	2	2				18	36	14	17		57	40	17	2			
5 崩壊、倒壊	24		1	24	19		1		2	1	19	91				1		1		2	5		1				8	7	5	13		21	17	9		1		
6 激突され	40			33	26	4	2		16	10	208	339			3	18	2	10	1	11	30	12					29	24	12	5		14	13	135	5	15		
7 はさまれ、巻き込まれ	218		3	108	82	10	12	3	5	34	225	700		10	12	31	24	154	2	35	130	37	2		1	1	61	27	26	43		31	34	38	1			
8 切れ、こすれ	105			65	3	3	1		13	4	174	368			59	1	19	73	1		3	2	1					131	18	6	3	1	31	4	13	1	1	
9 踏抜き				4	2						5	11						1			1							2		4		2	1					
10 おぼれ			1	1							1	3																						2				
11 高温・低温の物との接触	39	1		17	3	5	1			3	83	152						3				2			3	4		1	12	16	1	3	2		104	1		
12 有害物等との接触	9			7	1						10	27			1																23	2		1				
13 感電	2			1								3						1								2												
14 爆発				1	1						1	3						1														1					1	
15 破裂	1										3	4						1				1						1										
16 火災				3							1	4																					4					
17 交通事故(道路)	9		1	43	35	56	1			1	171	317				2						70	237					1						7				
18 交通事故(その他)										3	5	8																										
19 動作の反動、無理な動作	116	1	2	65	111	32	8		6	19	657	1017			1	5	1	7	1	4	40	28				2	36	45	33	176		23	147	97	27	344		
90 その他	30			14	4	89	1			2	1,741	1881						1										1		1				21	1,806	51		
99 分類不能	2											2																									2	
合計	1132	3	17	886	767	304	56	8	68	131	5543	8915	1	10	81	114	50	289	9	90	674	419	7	1	4	6	11	365	627	192	1696	33	230	311	1308	1861	523	3

本統計は、労働者死傷病報告(休業4日以上)により集計した速報値である。

令和5年 製造業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	2	10時台	食料品製造業	50人以上 99人	激突され	動力運搬機 2 2 2	被災者ら2名は、ホタテ貝殻粉碎機の入替を終え、ベルトコンベヤー（以下、「コンベヤー」という。）を元の位置に戻すため、同僚がフォークリフトのインナーマスト頂部の横梁にコンベヤーの上端部を載せて持ち上げながら前進してずらそうとしたところ、コンベヤーが横ずれし、離れて合図をしていた被災者が咄嗟に駆け寄り抑えようとしたが、当該コンベヤーが横転して被災者に激突したものの。
5	2	15時台	化学工業	10人以上 29人	墜落、転落	用具 3 7 1	被災者は、在庫品が保管してある棚の最上部（高さ2.85m）からビニールロール（直径11cm、長さ3.01m、厚さ0.15mm、重さ約30kg）を取り出そうと、脚立を跨ぐように上から1段目（高さ2.07m）に両足をのせ、当該ロールを右脇に抱え引っ張ったところ、後方にバランスを崩し墜落したものの。
5	9	12時台	食料品製造業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 1 6 7	被災者は、産業用ロボットが停止したため、高さ1.1mの安全柵を乗り越えてロボットの可動範囲内に立ち入ったところ、停止中のロボットが起動し、下降したロボットハンドとローラーコンベアとの間に上半身をはさまれたものの。
5	12	20時台	食料品製造業	10人以上 29人	崩壊、倒壊	荷 6 1 1	被災者は、高さ約4mにはい積みされた米紙袋の、最下段の米紙袋に穴が開いていたため粘着テープで補修していたところ、はいが崩れて下敷きとなったもの。

令和5年 建設業における死亡災害

発 生 年	発 生 月	時 刻	業 種	規 模	事 故 の 型	起 因 物	災 害 の 状 況
5	6	8時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	一般動力機械 1 6 9	被災者は、堤防の草刈作業に従事し、堤防の法面で乗用草刈機を運転していたところ、草刈機が用水路に落下し、同機械の下敷きとなった状態で発見されたもの。
5	6	16時台	建築工事業	10人未満	墜落、転落	物仮設 構物、建築 物等 4 1 5	屋根板金のふき替え作業中、勾配のある屋根上で軒側に背を向けて後ずさりしていたところ、約8m下の地面に墜落したもの。
5	7	19時台	建築工事業	10人未満	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	社用車のトラックを運転して出張先から自社に戻る際、片側1車線の直線道路上でセンターラインをはみ出して路外に逸脱したもの。
5	10	12時台	土木工事業	10人未満	おぼれ	環境等 7 1 1	被災者は、複数名で山中の道路の陥没箇所を確認するにあたり、道路外の斜面に下りて路盤の写真を撮ろうとした際に、誤って撮影用の携帯電話を落としたため、回収しようとさらに急な斜面を下って行ったところで行方が分からなくなり、翌日に湖の水中に沈んでいる状態で発見されたもの。
5	10	14時台	土木工事業	10人未満	墜落、転落	建設機械等 1 4 4	被災者は、締固め用ローラーを方向転換のため後進させていたところ、路肩から約4メートル下に転落したもの。
5	12	14時台	土木工事業	10人未満	転倒	建設機械等 1 4 6	被災者は、樹高約18mの支障木の伐倒準備作業中、支障木にロープをかけるため高所作業車のバスケットで運転操作を行っていたところ、当該高所作業車が転倒し、バスケットから投げ出されたもの。

令和5年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	2	8時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	転倒	環境等 7 1 9	被災者は、荷の配送先の駐車場で、運転してきた2tトラックの前方で倒れているところを近隣の者に発見されたもの。
5	2	6時台	道路貨物運送業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 1	被災者は、事業場の敷地内において9tダンプトラックの車体と荷台の間に挟まれているところを発見されたもの。
5	4	15時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 2	被災者がコンテナヤードにおいて、約60センチメートルの間隔が空いたコンテナとコンテナの間で、コンテナの扉を結束バンドで封緘する作業を行っていたところ、フォークリフト運転者が被災者に気が付かないままコンテナの間隔を詰めたことから、コンテナとコンテナの間に被災者が挟まれたもの。
5	4	12時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	被災者は、製材を積み込んだトレーラーに乗り、輸送先に向かって運転していた。当該トレーラーがICから高速道路に合流する手前のカーブを曲がり切れずに、路外に横転したもの。
5	8	17時台	道路貨物運送業	100人以上 299人	はさまれ、巻き込まれ	その他の装置、設備 3 9 1	被災者は、冷凍倉庫内（室温 - 23℃）において、フォークリフトと壁に挟まれているところを同僚に発見されたもの。
5	9	4時台	道路貨物運送業	50人以上 99人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 3 1	被災者は、自社から輸送のためトレーラートラックを運転し国道を走行中、何らかの原因で横転し、電柱に激突した。トレーラーヘッドの上半分が炎上し、死亡したもの。
5	10	8時台	道路貨物運送業	10人以上 29人	崩壊、倒壊	材料 5 2 3	ダンプトラックを運転して生コンクリート工場に到着したが、工場内のホッパーが満杯でダンプトラックに積載した砂を下ろすことができなかったため待機していたはずの被災者が、ホッパー内部の砂に埋まった状態で発見されたもの。
5	10	11時台	道路貨物運送業	30人以上 49人	墜落、転落	動力運搬機 2 2 1	工事現場内の空きスペースでコンクリートミキサー車の洗浄作業に従事していたはずの被災者が、ミキサー車付近で倒れている状態で発見されたもの。

令和5年 陸上貨物運送事業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	11	12時台	道路貨物運送業	30人以上49人	墜落、転落	仮設物、建築物、建築物等	418 製材工場にあるチップサイロの底部にある開口部から木材チップをトラックの荷台へ落とし入れる作業を行っていた被災者が見当たらなくなったため、チップで満たされたトラックの荷台の中を捜索したところ、チップ内に埋まっているのが発見されたもの。

令和5年 林業における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	1	10時台	林業	10人未満	激突され	伐出機械等 車両系木材	被災者は、倒木の整理作業現場において、チェーンソーを用い集積された倒木の根切り作業に従事し、同僚労働者が根が切り落とされた倒木をグラブプル機で移動させていたが、当該グラブプル機が旋回した際に掴んでいた倒木が被災者の頭部に激突したものの。
5	3	16時台	林業	10人以上29人	激突され	環境等	被災者は、同僚複数名とチェーンソー及び伐木機械を用いて伐木作業を行っていた。各作業員は離れた持ち場で作業していたが、終了時刻になって、伐倒木に腹部を押され、うつ伏せで倒れている被災者が発見されたものの。
5	7	9時台	林業	10人未満	崩壊、倒壊	環境等	被災者は、同僚5名と現場に入場し、チェーンソーを用いてトドマツ(人工林、樹高22m)の間伐作業中、伐採していたトドマツの近くに立っていたカバの枯損木(樹高15m)が倒壊し、当該枯損木が被災者に当たったものの。
5	8	10時台	林業	10人未満	その他	環境等	被災者は伐木作業に従事しており、休憩をしようとグラブプルを止めたところ、運転席に侵入した蜂に刺され、意識混濁となったものの。

令和5年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	1	7時台	清掃・と畜業	100人以上 299人	墜落、転落	用具 371	被災者は、小売店舗内において、荷の搬入口のシャッターを開閉するチェーンが建物天井付近にて絡まっていたのを直すため、脚立を開いてはしごとして使用し、当該絡まりを直していたが、作業を終え、はしごから降りる途中で足を踏み外して転落し、床に頭部を強打したものの。
5	2	7時台	その他の商業	30人以上 49人	おぼれ	物・仮設物・構築物・建築物等 418	被災者は、自社が行う外国船への荷の積み込み作業に関して、荷主と打ち合わせを行った後、当該外国船が停泊している岸壁近くの海面に浮いているのが発見されたもの。
5	2	8時台	卸売業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	被災者は、大型円形搾乳機(ロータリーミルクパーラー)の修理作業のため、前日深夜から単独で現場に入場していたが、翌朝、駆動モータ付近で頭部から血を流して倒れているところを発見されたもの。
5	3	17時台	その他の事業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	建設機械等 144	片側2車線の道路舗装工事現場において、舗装工事中の現場の交通誘導を行っていた被災者が、後進中のタイヤローラーに背後から轢かれたもの。
5	2	20時台	小売業	10人未満	交通事故(道路)	乗物 231	被災者は、勤務終了後、翌日出勤予定の店舗の付近で前泊するために軽自動車を運転していたところ、凍結路面でスリップし、対向車線へはみ出し、トラックと衝突したものの。
5	3	9時台	水産業	10人以上 29人	はさまれ、巻き込まれ	乗物 239	計4名が乗り込んだ漁船で、ホタテの養殖のため船に平行に固定されたケタローブに稚貝を取り付ける作業を行っており、被災者は箱に入った稚貝を他の作業員に手渡す作業に従事していた。巻き上げ機を止めて作業していたが、巻き上げ機が作動しており、ケタローブを固定するアームと巻き上げ機の間で挟まれていたもの。
5	2	14時台	その他の事業	50人以上 99人	墜落、転落	用具 371	被災者が屋根に積もった雪庇を落とす作業を行うため、はしごを昇降していたところ、はしごから墜落したものの。
5	4	13時台	清掃・と畜業	10人未満	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械 169	堆肥の発酵とふるい分けを行う施設内で、被災者は、堆肥とゴミを選別する機械と、当該機械の覆いの中で、意識のない状態で発見されたもの。
5	5	9時台	清掃・と畜業	10人以上 29人	飛来、落下	一般動力機械 169	客先の工場にあるタンクの内部を高圧洗浄水を用いて清掃する作業において、高圧洗浄車の横で機械操作を行っていたところ、高圧洗浄車のポンプから圧送用のホースが外れ、ポンプ内部より噴き出した高圧洗浄水が被災者の頭部に直撃したものの。

令和5年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生日	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	5	21時台	その他の事業	30人以上 49人	はさまれ、巻き込まれ	動力運搬機 2 2 1	建設工事現場において、一般車両の交通誘導を行っていた警備員である被災者が、荷の搬入のために現場内で後進していたトラックに背後から轢かれたもの。
5	6	11時台	畜産業	10人以上 29人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	大型トラックで片側1車線の緩やかな左カーブを走行していたところ、対向車線にはみ出し、対向車線を走行中のバスと正面衝突したもの。
5	6	11時台	道路旅客運送業	100人以上 299人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	都市間バスで片側一車線の一般道を走行していたところ、対向車線にはみ出してきたトラックと正面衝突したもの。
5	7	9時台	その他の事業	50人以上 99人	交通事故（道路）	動力運搬機 2 2 1	工事現場の出入口で、資材の搬入にきた積載型トラッククレーンの後進を誘導していた被災者は、歩道と車道の段差を解消するために設けたスロープがずれたため設置し直していたところ、停車していた積載型トラッククレーンが後進し、ひかれたもの。
5	7	11時台	その他の接客	10人以上 29人	転倒	乗物 2 3 9	被災者は、芝生に孔を開けるための作業車（エンジン式3輪、3段変速MT車）に乗り、カート用の道路（幅員2.1m）を走行中、下り坂の右急カーブの直後、右側に横転し、車体の右側面と路面との間に頭をはさまれたもの。
5	7	20時台	その他の接客	100人以上 299人	墜落、転落	用具 3 7 1	終業時刻後になっても帰宅していない被災者を捜索したところ、建物内で横たわっている状態で発見され、数日後死亡したもの。現場にははしごが倒れており、床には血痕があった。
5	7	8時台	その他の事業	30人以上 49人	高温・低温との接触	環境等 7 1 5	ボイラー室内においてボイラー運転業務を行っていた被災者が、机に伏せる状態で発見され、その後病院に救急搬送されたが、脱水症状があり、同日死亡したもの。
5	8	1時台	その他の事業	10人未満	交通事故（道路）	乗物 2 3 9	被災者は、建設現場へ建築用部材を搬送する輸送トレーラーの先導のため、輸送トレーラーの10km先を走行しながら無線により伝達する業務を行っていたところ、緩いカーブに差し掛かった際に対向車線にはみ出し、対向車線を走行中のタンクローリーと正面衝突したもの。
5	9	9時台	その他の接客	50人以上 99人	転倒	一般動力機械 1 6 9	被災者は、傾斜約40度の法面において、法尻から高さ約55cmの位置をエンジン付き手押し芝刈機にて芝刈り作業中、芝刈機が横転し、芝刈機とともに法面下の川に転落した際、芝刈機の回転歯で頭部に創傷を負ったもの。

令和5年 その他の業種における死亡災害

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
5	10	7時台	土石採取業	30人以上 49人	おぼれ	環 境 等 3	被災者は、側溝(幅4.5m、深さ3.5m程度)の際にドラグ・ショベルを止め、クローラ上に立ちながら汲み上げ用ポンプに連結した介錯ロープを引き揚げていたところで水中に転落し、溺れたもの。
5	10	10時台	その他の商業	10人未 満	飛来、 落下	用 具 2	被災者は、重ねて置いてある敷鉄板(1.5m×6m×22mm、1.6t)をクレーンでつり上げるため、専用のつり具(ハッカー)を敷鉄板の片側に掛けてつり上げ、浮いた隙間に鋼材をスペーサーとして差し込み、隙間に上体を入れたところ、ハッカーから敷鉄板が外れて、敷鉄板の下敷きになったもの。
5	10	18時台	その他の事業	300人 以上	激突	物 仮 設 物 、 構 築 物 、 建 築 等 9	事務所の通用口前階段付近において、頭部から出血し意識なく倒れている状態で発見されたもの。
5	11	8時台	その他の事業	10人未 満	墜落、 転落	物 仮 設 物 、 構 築 物 、 建 築 等 8	底部に排出部のあるホッパー状の穀物の貯蔵建屋内において、排出部に転落し、自然排出されず堆積していた穀物の生き埋めになったもの。
5	12	13時台	その他の事業	30人 以上 49人	交通事 故(道 路)	動 力 運 搬 機 1	片側2車線の高規格道路の舗装工事における警備の準備作業をするため、路肩に停車したトラックから降りたところ、後方から来たトレーラーに追突されたもの。
5	12	13時台	その他の事業	30人 以上 49人	交通事 故(道 路)	動 力 運 搬 機 1	片側2車線の高規格道路の舗装工事における警備の準備作業をするため、路肩に停車したトラックから降りたところ、後方から来たトレーラーに追突されたもの。
5	12	14時台	畜産業	10人 以上 29人	激突さ れ	動 力 運 搬 機 9	鋼製の柵が所定の固定位置から外れたことから、当該柵をけん引具で緊結し、農業用機械で引っ張る方法で所定の位置に戻そうとしたところ、支柱に引っ掛かっていた当該柵が外れて、被災者に激突したもの。

死亡労働災害の概要(令和6年2月把握分)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	事故の型	起因物	災害の状況
							なし